

試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：ハウス抑制トマトの黄化葉巻病抵抗性優良品種の選定			
<p>[要約] ハウス抑制トマト栽培に適した黄化葉巻病抵抗性品種は、草勢・着果が安定し、多収、裂果や空洞果の発生が少なく、糖度が高く食味がよい、「アニモ TY-12」、「SYTM004」、「TYみそら 86」である。</p>			
キーワード [※] 抑制トマト、TYLCV、黄化葉巻病、抵抗性品種、品種審査会			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター・生産技術部・野菜研究室 協力機関 日本種苗協会千葉県支部、(公社)千葉県園芸協会、 生産販売振興課		
実施期間	2013年度		

[目的及び背景]

千葉県のトマト生産は2010年産で作付面積が859ha、産出額142億円と、全国でもトップクラスの産地であり、海匝地区、長生地区、印旛地区を中心に周年生産されている。生産面での問題は、夏期の高温障害の発生、冬季の燃油価格の高騰、黄化葉巻病等の病虫害の発生、長期の連作による収量の低下等があげられる。これらを回避し安定的な生産を図るためには、作型に適応した優良品種の選定が重要である。

これまでの黄化葉巻病抵抗性品種は、食味が悪い、裂果や乱形果が多いなど品質に問題があったが、近年、それらが改良された品種が開発されている。そこで、本県トマトの主要な作型であるハウス抑制栽培において、多収、裂果や空洞果の発生が少ない、草勢・着果が安定している、糖度が高く食味が良い等の特性を有した、黄化葉巻病抵抗性品種を選定する。なお本試験は、第61回千葉県野菜品種審査会(トマトの部)として実施する。

[成果内容]

- 1 第61回千葉県野菜品種審査会(トマトの部)において審査した10品種のうち、入賞となった上位3品種は、「アニモ TY-12」(朝日工業(株))、「SYTM004」(シンジェンタジャパン(株))、「TYみそら 86」(みかど協和(株))である(表1)。
- 2 生育は、いずれの品種も参考品種「桃太郎グランデ」(タキイ種苗(株))と大差ない(表2)。
- 3 収量は、「アニモTY-12」で最も可販果収量が多く、次いで「SYTM004」が多い。規格外の多くが、裂果によるものである(表3)。
- 4 糖度は、「TYみそら86」で最も高い(表3)。
- 5 以上の結果から、入賞した3品種は、多収、裂果や空洞果の発生が少ない、草勢・着果が安定している、糖度が高く食味が良い等の特性を有しており、普及性の高い品

種である。

[留意事項]

[普及対象地域]

県内全域のトマト栽培者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 審査結果

順位	審査 番号	得点				品種名	出品社名
		立毛	収穫物	収量	合計		
1	6	169.6	334.5	50.0	554.1	アニモTY-12	朝日工業(株)
2	5	162.8	333.8	47.3	543.9	SYTM004	シンジェンタジャパン(株)
3	3	165.7	320.1	38.5	524.3	TYみそら86	みかど協和(株)
4	8	163.3	307.0	48.6	518.9		
5	4	151.6	316.6	41.1	509.3		
6	9	158.0	305.2	41.8	505.0		
7	1	154.8	318.6	26.6	500.0		
8	2	151.5	301.2	30.2	482.9		
9	7	153.4	300.4	26.8	480.6		
10	10	158.2	291.6	21.9	471.7		

注1) 審査は、9月26日及び10月8日に行った

2) 配点は、立毛200点、収穫物(食味を含む)400点、収量50点の合計650点満点とした

表2 栽培終了時の生育

審査 番号	品種名	茎径 (mm)		茎長 (cm)	葉数 (枚)	葉重 (g)	莖重 (g)
		株元	5段直下				
1		14.0	16.1	181	19	919	439
2		13.4	14.9	176	18	782	384
3	TYみそら86	15.7	15.6	181	18	1,276	460
4		14.0	14.5	167	19	843	374
5	SYTM004	13.8	15.0	181	19	867	423
6	アニモTY-12	14.5	14.9	185	18	1,198	446
7		14.5	14.7	190	19	939	409
8		14.2	15.7	164	19	1,180	395
9		13.6	15.2	195	20	1,138	441
10		13.8	15.5	197	20	1,190	490
参考	桃太郎グランデ	14.5	16.2	194	19	1,027	441

注1) 茎長は株元から摘心位置までの長さ、葉数は第2花房より上の葉数

2) 播種は6月17日、定植は7月16日に行い、ハウス開口部は0.4mm目合いの防虫ネットを展張、定植前～10月3日までハウス屋根部に35%の遮光資材を展張した

3) 栽植密度は、1,683本/10aとした

4) 10a当たり施肥分量は、窒素24kg、リン酸22kg、加里26kgとした

表3 収量及び糖度

審査 番号	品種名	収量 (g/株)			収穫 果数 (個/株)	平均 1果重 (g)	糖度 (Brix%)	規格外 裂果 発生率 (%)
		可販果	規格外	総収量				
1		2,144	1,100	3,244	25	132	4.8	30
2		1,896	1,029	2,925	22	132	4.4	34
3	TYみそら86	2,548	1,422	3,970	24	169	5.0	31
4		3,142	660	3,802	26	145	4.7	17
5	SYTM004	3,287	875	4,162	24	178	4.6	19
6	アニモTY-12	3,326	699	4,025	27	149	4.5	17
7		2,076	1,147	3,223	24	135	4.8	36
8		3,319	931	4,250	23	182	4.5	20
9		3,118	634	3,752	22	168	4.7	13
10		1,781	2,173	3,954	25	159	4.9	50
参考	桃太郎グランデ	3,455	1,169	4,624	26	178	4.4	24

注) 規格外裂果発生率は、総収量における規格外裂果の発生割合を示す

[発表及び関連文献]

平成25年度試験研究成果発表会(野菜部門)

[その他]